

7. 神戸空襲を記録する会

はじめに

プログラムについて

プログラム一覧

プログラム内容

プログラムお問合せ

～平和と公正をすべての人に～

神戸の空襲と戦争遺跡について、 まち歩きをしながら現在と過去の神戸を学ぶ



*神戸新聞社提供

『恒久的な平和を願って』

1945年に何度も繰り返された「神戸大空襲」では、8千人の方が亡くなりました。

平和をつくり守っていくためには、過去の歴史に学び、日本の戦争の痕を知り、戦争の実相を語り伝えていくことが大切だと思います。戦争がどのように引き起こされ、人々の暮らしに何が起こったのか、その地に立ち、空気にふれることで、思いを巡らせることができるのではないかと考えています。

神戸の町の歴史と戦争の歴史について調べ、考えていただければ、そして平和をつくり守っていくためにできることを一緒に考えていただければ嬉しいです。
神戸空襲を記録する会 事務局長 小城 智子



*小城智子様提供

プログラムスケジュール例

- 10:00～ ①会員による神戸空襲・戦争遺跡・歴史について説明を聞きながら指定ルートを歩く。
(事前に希望を伺います)
- 11:30～ ②テーマ別ディスカッション
グループに分かれて、課題テーマにそってディスカッションを実施。
発表をしていただきます。
- 12:30 終了

実施場所：神戸市内各区 各ルート
 実施時間：平日9：00～16：00の間
 所要時間：約2時間（時間の範囲内で調整可能）
 実施可能人員：30名～180名程度
 （日程により調整が必要です）
 実施費用：中学・高校生1,000円／人

①会員の方と神戸の空襲、戦争遺跡を歩く

「神戸平和マップをつくる会」の方と一緒に、神戸空襲、戦争遺跡と神戸の歴史も交えた説明を聞きながら歩きます。

10ルート以上設定されていますが、主なルート例として、

■「兵庫区」ルート

JR兵庫駅→兵庫図書館→神戸戦災記念資料室→柳原天神社 電話局殉職女子職員の慰霊碑→能福寺兵庫大仏→平清盛像→大輪田橋
空襲のあと 出在家町慰霊碑→薬仙寺 慰霊碑等が整備されている

■「東灘区」ルート

阪神石屋川駅→東明神社：銃弾痕→石屋川公園「火垂るの墓モニュメント」→御影公会堂爆弾のあと→成徳小学校皇紀2600年記念石灯籠



*神戸新聞社提供



*神戸新聞社提供

②テーマ別ディスカッション

- ・公共施設会議室にて、課題テーマにそって、グループディスカッションを行い、発表します。
- ・東灘区、灘区ルートでは、神戸大空襲と阪神大震災に被災した御影公会堂内でのディスカッションを予定しております。



*神戸観光局提供

7. 神戸空襲を記録する会



学習のポイント

- ① 神戸の町の歴史と戦争の歴史について理解する
- ② 国際平和を自分ごととして考える
- ③ 平和な未来の社会に向けて自分の役割を考える



学習の流れ（モデル）

